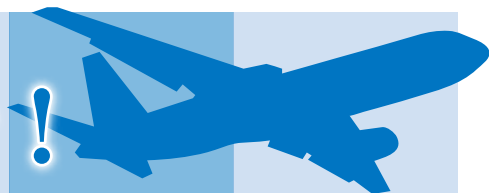


山形県政に新風を!



Contents

- ご挨拶
- 県議会本会議・委員会での質問
- 活動スナップ



平成30年12月定例会一般質問に登壇

やまがた創生に全力投球!

日頃より私の議員活動に温かいご支援、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。この一年間は全国的に自然災害が多発し、県内各地でも深刻な水害が発生するなど、防災・減災の重要性が再認識されました。被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げます。

格安航空会社(LCC) ジェットスター・ジャパンによる庄内=成田便就航検討の表明や県内空港の滑走路2,500メートル化事業に向けた調査の本格化、台湾チャーター便の通年運航の計画発表など、庄内空港に関わる明るい話題が続きました。格安航空会社の就航が実現すれば、首都圏をはじめ国内外との距離が更に縮まり、羽田便との相乗効果で、人の交流がダイナミックに変わっていくものと確信しています。それぞれの計画の実現、前進に向け、取り組んで参ります。

少子化、人口減少が進むなか、若者の地元定着・回帰が進むよう地場産業の振興や医療、介護、保育等の人材確保、スマート農業の導入促進、鶴岡市への県立中高一貫校の設置にも力を入れていきます。

これからも鶴岡・庄内から山形県を元気にしていく、やまがた創生の実現に向け活動を重ねて参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成30年6月定例会
予算特別委員会で質問

山形県議会議員 佐藤 聡

Q&A

今年度は、厚生環境常任委員長として、安心して暮らしていける地域福祉の確保や循環型社会の実現、再生可能エネルギーの促進に取り組んできました。また県政の課題を捉え、議会の場で質問、提言を行っています。

【平成30年6月定例会 予算特別委員会】

◆コンクリートブロック塀の安全確保

質問：佐藤 聡

県立学校のブロック塀緊急点検では、5校7か所で現在の建築基準法の基準である高さが2.2メートルを超えるブロック塀が確認された。高さが2.9メートルの鶴岡南高等学校のプール壁は、多くの児童生徒が登下校時に利用する公道に面しており、危険性が高い。今後の対応と撤去までの安全対策をどう講ずるのか。

答弁：教育長

通学路に面している鶴岡南高等学校のプール壁については、公道に隣接する鶴岡南高等学校の敷地内に「通行注意」の看板を立てて注意を喚起したほか、施設管理者の学校長から、道路管理者である鶴岡市、鶴岡市教育委員会に情報提供を行い、撤去までの間、市民や児童生徒の安全確保についての協力を依頼した。できるだけ早く撤去する方向で進めている。

→その後、工事が行われ、ブロック塀は撤去された。



撤去前のブロック塀



撤去工事の様子

◆県の職場におけるハラスメント防止への取組み

質問：佐藤 聡

パワーハラスメントやセクシャルハラスメントなどのハラスメント（嫌がらせ・いじめ）は、円滑な人間関係を阻害し、被害者に精神的、肉体的苦痛を与える深刻な問題である。ハラスメントを未然に防止するとともに、これが生じた場合に、迅速かつ適切な措置を講ずる必要がある。県の職場におけるハラスメントの現状と対応はどうか。

答弁：総務部長

ハラスメント防止のため、パンフレットによる周知を図っているほか、職位別研修でも講習しており、特に課長級研修では外部講師を招いて研修している。人事課や総合支庁に相談窓口を設置し、相談専用電話回線も用意している。知事部局での相談件数は、平成29年度までの直近5年間で、セクハラ5件、パワハラ30件、出産に関するハラスメント1件である。長期的にみると、セクハラは減少しているが、パワハラは増加傾向にあり、発生防止に重点的に取り組む必要があると認識している。処分はセクハラ2件で、1件は停職処分、1件は条件付き採用期間であったため分限免職とした。

精神疾患による長期病欠者は毎年40人を少し超える程度で推移しているが、中には、ハラスメントが懸念される事例もある。ハラスメントが発生しない職場環境づくりに努めていく。

【平成30年6月予算特別委員会 その他の質問項目】

- 庄内中高一貫校の設置
- 通学路の安全確保
- 庄内空港の冬期間の運航確保と格安航空会社の就航
- ICTを活用した土木工事 他

【平成 30 年 12 月定例会 県土強靱化・安全安心対策特別委員会】

❖滑走路2,500メートル化へ向けたスケジュールや方向性

質問：佐藤 聡

県内空港の滑走路2,500メートル化へ向け、来年度以降の調査内容やスケジュールはどのように考えているか。

答弁：空港港湾課長

滑走路の延伸に伴い、多岐にわたる空港機能強化が必要になるため、2020年度以降にロードマップ（行程表）の作成を考えている。インバウンド拡大を見据え、どのような路線開発を目指すのか、国内路線の充実をどう進めるか、得られる便益や工事費用を抑えるための整備手法などの検討・調査を進める。再来年度には、対象空港をどちらにするのか絞ることになると考えている。

→平成31年度予算で2,570万円を計上し、調査を進めることとしている。



【平成 31 年 1 月 県土強靱化・安全安心対策特別委員会】

❖庄内空港への格安航空会社就航に向けた支援

質問：佐藤 聡

格安航空会社（LCC）のジェットスター・ジャパンが、庄内と成田とを結ぶ路線就航を検討していることを表明し、県に協力依頼があった。就航すれば、人の動きが活発になり、庄内地方の発展の起爆剤になると、地元でも期待が高まっている。就航実現のため、県はどのような対応、支援を行っていくのか。

答弁：総合交通政策課長

受け入れ態勢整備としては、空港ビルの施設改修をはじめ、ビル使用料に対する支援、利用拡大への取組みが大きな柱である。施設改修については、ジェットスター・ジャパン専用のチェックインカウンターや荷物を運ぶベルトコンベアなどを整備するために関係者との調整を進めている。ジェットスター・ジャパンとの協議を加速させるとともに、地元自治体や関係機関等と連携して利用拡大の取組みも検討していく。就航が実現するよう全力で取り組んでいく。

→平成31年度予算で新規就航関連予算として7,100万円を計上し、受け入れ準備を進めることとしている。



ジェットスター・ジャパン役員と意見交換

【平成 30 年 12 月定例会 一般質問 項目】

- シカの被害対策について ●風力や熱利用の促進 ●県有遊休施設の利活用 ●鳥獣管理の担い手確保
- 台湾との国際チャーター便と定期便化 ●サイクルツーリズム推進 ●高齢運転者の事故防止策

◆活動スナップ



雪を活かした「スノーツーリズム」をテーマに、東北初となる国連世界観光会議が山形市で開催されました。国連世界観光機関（UNWTO）本部事務局長アドバイザーに日本人で初めて就任した亀山秀一氏と。（平成30年2月）



寒河江市にある県の農業総合研究センター園芸試験場で、スマート農業の取り組みや新しい栽培方法、新品種の開発状況を聞きました。「園芸大国やまがた」をリードする研究が行われています。（平成30年8月）



日中平和友好条約締結40周年記念イベントで、程永華駐日本国中国特命全権大使から話を伺う機会がありました。改善しつつある日中関係について講演されました。（平成30年5月）



厚生環境常任委員会で、山形大学医学部で建設が進められている重粒子線がん治療施設の取組みを伺いました。2020年度の治療開始を目指して準備が進められています。（平成30年9月）



豪雨によるがけ崩れや法面の崩落が相次ぎました。また洪水を防ぐため、浚渫や支障木の伐採の要望も多くあります。市議、県・市職員の皆さん立会いのもと対応を協議し、復旧を進めました。（平成30年6月 宝谷）



4つの県立病院院長と厚生環境常任委員会との意見交換会を開催しました。それぞれの病院が抱える課題や経営改善策等について、率直な意見交換が行われました。（平成30年10月）



県内初の県立中高一貫校で、開校3年目を迎えた県立東桜学館を訪れ、一貫校独自のカリキュラムや一貫教育のメリット等を確認しました。今春、中学校初の卒業生が高校に進学します。（平成30年8月）



羽田・成田空港のJAL国際線ラウンジで雪若丸の提供が始まりました。JAL特製ビーフカレーにピッタリ合うと、高い評価を得て採用が決まりました。採用に尽力されたJAL担当者の方々と。（平成31年3月）

佐藤 聡 プロフィール

昭和43年5月18日生

【略歴】 鶴岡南高校、早稲田大学政経学部政治学科卒、日本航空株式会社、鶴岡市議会議員（3期）平成27年山形県議会議員当選。農林水産常任委員長、自由民主党山形県連青年局長を務める。

【現在】 厚生環境常任委員長、県土強靱化・安全安心対策特別委員会副委員長

【所属会派】 自由民主党

発行：佐藤聡事務所

住所：997-0031 鶴岡市錦町3-35第12庄交ビル
電話番号：0235-64-8166 FAX番号：0235-64-8156

電子メール：satosatoshi.office@gmail.com

ホームページ：http://www.satosatoshi.com

Facebook：https://www.facebook.com/satoshi.sato/